



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

栗東ロータリークラブ

創立 1984年(昭和59年)5月20日

2022~2023 第2650地区スローガン 「感動、感激、そして感謝」
2022~2023 栗東RC会長テーマ
「ロータリー精神の深化で成長を楽しもう」

Vol. 40 No.1

第1743回例会

2022年07月07日

12:30 開会・点鐘

国歌・ロータリーソング 斉唱
「奉仕の理想・四つのテスト」

ご来客紹介

会長・幹事バッジ引継ぎ

食事

会長の時間 会長 猪飼英男
「会長メッセージ」

会務報告 幹事 角圭介

委員会報告 各委員長

例会プログラム

「卓話 理事・役員・各委員長就任挨拶」

ニコニコ箱

13:30 閉会点鐘

本日の受付 東村吉彦君 樋上雅一君

2022~2023 年度栗東ロータリークラブテーマ

『ロータリー精神の深化で成長を楽しもう』

2022~2023 年度

会長 猪飼英男

会長所信



この度、浅学の身でありながら、2022~2023 年度 栗東ロータリークラブ 第39 代会長を務めさせて頂くことになりました。まだまだロータリー歴も浅く、駆け出しのロータリアンで浅薄さの身ではありますが、皆様のご指導を賜りながら精励してまいります。よろしくごお願い申し上げます。

3年に及ぶ「新型コロナウイルスパンデミック」は沈静化に向かうのか、まだまだ不透明で経済活動との調整が難しい状況下、「ウクライナ危機」「戦争」という事態が引き起こされました。この困難が人為的なものであることを考えると、実に残念で憤りを覚える行為です。グローバル化した現代社会では、国や地域を超えて世界規模で結びついており、遠い異国の話ではなく楽観視できません。

コロナパンデミックやウクライナ危機が必然的なものであるとすると、これを人類がどのように克服していくのかというのは、課せられた試練ではないかと思えます。

国際ロータリーの使命は、世界理解、親善、平和を推進することであり、ロータリーが困難な時にこそ行動を起こす人々からなる組織であることを認識し、強く倫理と高潔さを育成・実践したいものです。

2022~2023 年度 国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ氏は、テーマを『イマジン ロータリー』とされました。国際ロータリー初の女性会長ジョーンズ氏は『想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。』

2022~2023年度 理事・役員 会長(理事) 猪飼英男 副会長兼クラブ奉仕(理事) 田口信雄

会長エレクト(理事) 田口信雄 社会奉仕(理事) 長谷茂徳 財団・米山(理事) 國松正一 幹事(理事) 角圭介

直前会長(理事) 齊藤隆夫 青少年奉仕(理事) 松尾光 親睦活動(理事) 前河一広 会計(理事) 南義彦

職業奉仕(理事) 竹本信一 国際奉仕(理事) 塚田耕司 S.A.A.(理事) 今井康裕

例会：毎週木曜日 12:30~13:30 例会場：栗東市商工会館3階研修室C

事務局：滋賀県栗東市手原3丁目1番25号 栗東市商工会館2階

TEL: 077-553-7178 FAX: 077-553-0820 HP:rid2650-pub.com/ritto/ E-mail:ritto-rc@air.ocn.ne.jp

Rotary 四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1) 真実かどうか 2) みんなに公平か 3) 好意と友情を深めるか 4) みんなのためになるかどうか

私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。』と呼びかけられています。

また、2022~2023 年度 尾賀康裕 地区ガバナーは、『感動、感激、そして感謝』をスローガンとされ、ロータリアンとしてそれぞれの居場所で実践を楽しみましょう！と勧奨されています。

このような世界的困難に、我々栗東ロータリークラブが直接目に見える形で貢献できることは少ないように思いますが、改めて、奉仕と親睦を更に推進し質を高めていきたいと思えます。

2022~23 年度 栗東ロータリークラブテーマは、『ロータリー精神の深化で成長を楽しもう』といたしました。世界規模の危機、リスクを前にして、我々にでき得ることはロータリー理念の展開・拡大であり成長させることが国際社会の中での責任だと思えます。

それまでは全くかわりの無かった人達が会員となって、親睦を深め、ロータリー理念・活動を実践していくことは高潔で楽しい、これこそが『奉仕の理想』に繋がるものと思っております。

人や国が内向きになり、他に関心を向けなくなった、関係ないものとして傍観的になってしまったことが世界規模危機の要因であるように思えます。

国際ロータリーでは、『DE I...D: Diversity (多様性)、E: Equity (公平さ)、I: Inclusion (包摂)』を既に行動規範としています。

栗東ロータリークラブでも、多様性、開放的で公平な組織を目指し、ロータリー精神を会員、クラブ、地域に深化(進化)・拡大させていくことで、成長を楽しめるものと考えます。

重点目標

- 会員増強に努め、純増 5 名 とする。会員数は活動をするうえでスケールメリットとなり 大きな要素と考えます。『DE I』を促進し、増強に努めます。
- 例会、委員会活動、同好会活動を活発化する。コロナ感染症によって制限された例会、各種活動を楽しく活発にする。
- 栗東生活支援協議会への支援を更に広げる。取り組みをPR、広報することで支援を 拡大する。
- 40周年記念事業実行委員会を立ち上げ、総力を挙げて準備し、成功へ導く。

2021~22年度

齊藤隆夫会長退任挨拶



コロナ感染症が収まらない中、栗東ロータリークラブ第38 代会長を拝命し、皆様方にご協力頂き一年を終えさせて頂くこととなりました。本当に有難う御座いました。

今年度は「親睦と奉仕活動を透してロータリーを楽しもう」をテーマにスタートいたしました。

重点目標に、「会員の増強」、「例会の全開催」、「各委員会(炉辺会合)の開催」、35周年記念事業である「人道的奉仕事業の継続」を掲げ、各理事・委員会委員長はじめ皆様にご協力頂きましたが、重点目標の「例会の全開催」を8月末の「コロナ緊急事態宣言」を受け、早々と断念してしまっただけに残念でありました。

それでも10月からの例会では幅広い分野の方々から卓話においていただきました。直接的にコロナ感染症の制限を受ける委員会活動は除き、徐々に以前のような活動を進めて頂きました。特に会員増強委員会では新会員獲得で大きな成果をあげて頂きましたし、親睦活動委員会では、ロータリー活動の原点であります、親睦の機会並びに新会員歓迎会など積極的な活動を実施していただきました。ワクチンの効果のおかげでコロナ感染者もかなり減少し、今まで出来なかった親睦活動も十分な感染対策を講じながら以前のような活動が再開できたことは、次年度に繋がることとして嬉しく感じました。ただ、私たちの活動は徐々に戻りつつありますが、35周年記念事業で始めた「人道的奉仕事業の継続」の対象である生活困窮者は増加している状況です。

栗東ロータリークラブの35周年記念事業は次年度で一旦終えることとなりますが、大きな社会問題である福祉事業に関わられたことは意義あることだと思えます。

ロータリークラブの力には当然限界があり、時間的にも資金的にも限られていますが、我々の活動がこれからも、より多くの人達に良い影響を与えられるきっかけになることを願っています。

最後になりますが、理事・役員の皆様、並びに会員の皆様のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

一年間有難う御座いました。

Rotary



ロータリアンとして、私は以下のように行動する

ロータリアンの行動規範

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4 ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。